

第5回連続講座『『いのち』を考える』 講師プロフィール

日程	講師（敬称略）	プロフィール
5/16 (金)	山田 邦男（やまだ くにお） 大阪府立大学名誉教授	大阪府立大学総合科学部教授を経て、現在、同大学名誉教授。人間形成論、哲学的人間学専攻。著書に「生きる意味への問いーV・E・フランクをめぐって」「フランクとの＜対話＞」など多数。訳書に「それでも人生にイエスと言う」他。
5/23 (金)	小達 一雄(おだて かずお) (財) 夏目雅子ひまわり基金理事長	ノートルダム大学（米国）経済学部卒業。日本ビジネススクールロサンゼルス校事務局長。帰国後、ヘキサ・プロセス株式会社設立、夏目雅子ひまわり基金設立。厚生省高齢者対策諮問在宅ホスピス啓発委員、健康医科学トレーナーズ協会設立 理事などを務める。現在、厚生労働省厚生科学審議会疾病対策審議会審議委員、財団法人日本骨髄バンク評議員、学校法人滋慶学園東京フィルムセンター映画・俳優専門学校学校長、学校法人滋慶学園東京アニメ・声優専門学校学校長、財団法人夏目雅子ひまわり基金理事長。
5/30 (金)	柏木 哲夫(かしわぎ てつお) 金城学院学院長 淀川キリスト教病院理事長	大阪大学医学部卒業。ワシントン大学留学。淀川キリスト教病院で日本最初のホスピスプログラムをスタート。現在病院理事長。大阪大学人間科学部教授を経て金城学院大学学長。現在学院長。日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長、J R西日本あんしん社会財団理事。著書に「使命を生きるということー真のホスピス緩和とケアとがん哲学者外来からのメッセージ」他多数
6/ 6 (金)	玉木 幸則(たまき ゆきのり) 西宮市社会福祉協議会 障害者相談支援センターにしのみやセンター長	1968 年姫路市に仮死状態で生まれる。4 歳で肢体不自由児療育施設に入所、障害者としての洗礼を浴びる。小中学校は、地元の普通学級で学ぶも、高等学校だけ泣く泣く養護学校へ。1991 年日本福祉大学社会福祉学部第Ⅱ部卒業後、知的障害者通所授産施設に勤務。1992 年自立生活センター・メインストリーム協会事務局次長に就任以後、障害者の自立生活運動に取組む。現在は、社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会 障害者総合相談支援センター にしのみやセンター長。西宮市地域自立支援協議会 会長など。Eテレ 毎週金曜日 21:00～21:29 障害者情報バラエティ「バリバラ」レギュラー出演中。著書に「生まれてきてよかったーてんでバラバラ半生記ー」など。
6/13 (金)	清水 康之(しみず やすゆき) 特定非営利活動法人 自殺対策支援センターライフリンク代表	元NHK報道ディレクター。自死遺児たちの取材をきっかけに、自殺対策の重要性を認識。2004 年にNHKを退職し、ライフリンクを設立。10 万人署名運動等を通して 2006 年の「自殺対策基本法」成立に大きく貢献する。自殺対策の「つなぎ役」として日々全国を奔走中。鳩山・菅政権においては、内閣府参与（自殺対策担当）を務めた。著書に『自殺実態白書 2013』（ライフリンク編）、共著に『自殺社会から「生き心地の良い社会」へ』など。
6/20 (金)	小山 明子(こやま あきこ) 女優、エッセイスト	大谷学園在学中、学園のファッションショーに出演した際『家庭よみうり』のカバーガールとなり、松竹にスカウトされ入社し映画「ママ横を向いて」で女優デビュー。その後、映画や舞台、テレビで活躍。最愛の夫（映画監督、大島渚）が病で倒れてからは女優業を控え介護に専念。介護をテーマに講演会、コメンテーター、執筆活動。2001 年には、小山明子事務所を設立、現在に至る。「パパはマイナス 50 点」で第 25 回日本文芸大賞エッセイ賞受賞。著書に「女として、女優として」、「小山明子のしあわせ日和～大島渚と歩んだ五十年～」など。